

栄町こども計画素案に対するご意見と町の方針

No.	ご意見等	町の方針	参考頁
1	女性の就業率は、年齢のステージごとの仕事と出産や育児に関しての関係性を示すものだと思います。出産は確かに女性にしかできないことで、年齢のステージに関連がありますが、10 ページでのSDGsのジェンダー平等という観点からすると、男女共同参画や男性の育児参加を踏まえ、女性だけでなく男性の就業率も加えてはいかがでしょうか。	今回の計画では、女性の就業率を全国平均等と比較することにより、保育ニーズがあることを確認したものです。 ご指摘のとおり、子育て期の保護者の共働き・共育てを推進していくためには、男女共同参画や男性の育児参加を推進するものですので、次期計画より、女性だけでなく男性の就業率も加えて、分析していきたいと考えています。	18
2	ニーズ調査が小学校5年生と15歳から29歳の若者となっていますが、中学生、高校生、というように、今後は階層を分けて調査していただければと思います。	次回計画策定のニーズ調査の際に検討します。	28～39
3	自己肯定感の調査は、小学校5年生よりも、思春期以降下がってくる傾向があるように思います。質問項目に ・「子どもの権利条約」を知っていますか。 ・まわりの大人に望むことは何か。 ・栄町で好きなところは。 ・もっと素敵な町になるためには。というような項目もあっていいと思いました。	次回計画策定のニーズ調査の際に検討します。	28
4	「こどもの障がいの有無、年齢等にかかわらず、みんなが分け隔てなく安全でのびのびと遊ぶことができるようインクルーシブ遊具の整備や、利用するすべての人がリフレッシュできる憩いの場づくり」ということが挙	こどものニーズを的確に捉え、施策への反映を図るため、町長との懇談会事業や中学生模擬議会などの機会やデジタルツール等を通じて、こどもの意見を聴取します。	53

	がっていましたが、この実現のために、子どもの意見を取り入れたり、こどもも参画できるようにしていただけたらと思いました。		
5	国の方針でも、学習支援、子ども食堂、プレーパークなど、色々な居場所づくりが必要とされています。こどもの意見をアンケートで集約するだけではなく、こうした居場所での普段からのコミュニケーション中から、子どもの意見を聞くことも大事だと思います。	町長との懇談会事業等の機会を活用して、こどもや若者の意見を聴取して、各々のニーズに応じた持続可能な居場所を身近な地域に持てるよう、地域、活動団体、行政が連携して取り組みます。	53 59 62 63
6	親のニーズ調査の中に、子育て支援の充実を図ってほしいと期待することは「こども連れでも出掛けやすく、楽しめる場所」が70.9%と最も高く、子育てが楽しいと思えたら、出生率も増える可能性があるので、子育て当事者や、地域の方も一緒に楽しめるようなプレーパークなど広がると良いと思います。	公園等整備事業を推進していく中で検証を重ね、子育て世代や地域住民の意見を聞きながら、プレーパーク整備も含め内容を決めていく予定です。	27
7	保護者のニーズに「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などにこどもを預かる人や場があること」があります。小学生以降になると、保育園の一時預かりというわけにもいけないので、ファミリーサポートセンターなどが出来ると良いと思っています。	ニーズ調査の結果のとおり、ファミリーサポートセンターは地域で子育てを支えるうえで必要な事業ですので、今後設置に向けて検討してまいります。	43